

< 集団討論課題（警察官 A） >

試験日の午前、午後(いずれか受験)ごとに以下の課題中1題を出題。

1	<p><b>【自殺統計について】</b> 日本の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は減少傾向にあるものの、諸外国と比較すれば、依然として高い水準で推移しています。 特に、学生、生徒等の未成年者層では、自殺者数、自殺死亡率ともに上昇しています。 そこで、次の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。</p> <p>(自殺統計の特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 月別自殺死亡率 3月～5月の自殺死亡率が高い。</li><li>○ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。</li><li>○ 未成年者層の原因・動機別 学校問題、健康問題、家庭問題の順に多い。</li></ul> <p>1 未成年者層で自殺者が増加している要因について 2 自殺を防止するための取組について</p>
2	<p><b>【熊本県の人口減少について】</b> 熊本県の人口は約182万8,000人(平成29年人口動態調査)ですが、年々減少傾向にあり、特に14歳以下の人口は、平成19年から平成29年までの10年間で約25万8,000人から約23万8,000人と、約2万人減少しています。 そこで、次の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。</p> <p>1 人口減少が熊本県に与える影響について 2 人口減少を抑止するための取組について</p>
3	<p><b>【男性の家事育児時間について】</b> 6歳未満の子を持つ日本人男性の育児時間は、2016年で1日平均48分であり、先進国中最低の水準です。また、熊本県における男性の家事時間は、国内でも低い水準にあります。 男性の週60時間以上の就業は全体的に減少傾向ですが、30代、40代では他の年齢層に比べて高い傾向にあります。 他方、スウェーデンでは、育児休業制度が日本より充実しており、現在では9割以上の男性が育児休業を取得しています。 そこで、次の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。</p> <p>1 日本人男性の家事・育児時間が短い原因とその影響 2 男性の家庭への関わりを増やすための方策</p>
4	<p><b>【食品ロスについて】</b> 日本では、本来食べられるのに捨てられる食品(以下「食品ロス」という。)の量が、年間約612万tにのぼり、1人当たり年間48kgの食品を廃棄していることとなります。この量は、世界全体で発展途上国の食料不足緩和のために行われる援助量の約2倍に当たります。 このような現状を踏まえ、次の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。</p> <p>1 食品ロスの要因とこれに起因する問題点 2 食品ロスを減らす対策</p>

5	<p><b>【若年層の薬物汚染について】</b></p> <p>近年、薬物事犯全体の検挙人員は13,000人台で推移し、横ばい状態が続く中、大麻事犯は増加傾向にあり、特に、人口10万人当たりの年代別検挙人員では、未成年を含む30代以下が全体の8割以上を占めています。</p> <p>若年層での増加の一つに、大麻の危険性や有害性への認識の低さが指摘されていますが、このような現状を踏まえ、次の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若年層の検挙者が増えている背景</li> <li>2 薬物乱用防止のために効果が期待される取組</li> </ol>
6	<p><b>【健康増進法について】</b></p> <p>平成30年の健康増進法の一部改正により、本年4月から、原則飲食店や商業施設などには、全面禁煙若しくは未成年者の立ち入りが禁止された喫煙専用室の設置等が義務づけられました。これに先駆け、警察本部庁舎内も昨年からは全面禁煙としています。</p> <p>本改正は、望まない受動喫煙の防止を目的としていますが、次の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 たばこの有用性と有害性</li> <li>2 受動喫煙防止のために必要な対策</li> </ol>